

「声かけ事案」の発生状況について

1 令和2年中の「声かけ事案」の発生状況について

昨年中、18歳未満の児童・生徒に対する「声かけ事案」は県内で230件にも及び、その概要としては、

- ・ 公園で遊んでいた数人の女兒を物陰に隠れてジロジロ見つめる男がいた。
- ・ 下校中の女子児童が、見知らぬ男から呼び止められ、下半身を見せつけられた。
- ・ 下校中の女子生徒が、見知らぬ男から声をかけられた。
- ・ 徒歩で下校中の女子生徒が見知らぬ男から徒歩でつきまとわれた。

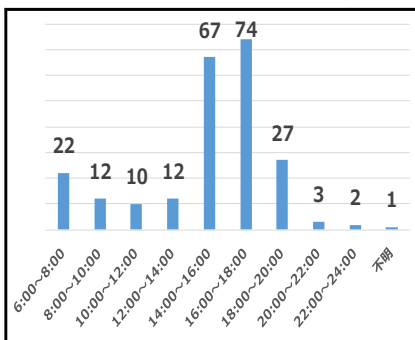
となっています。

昨年中発生した「声かけ事案」について分析したので、パトロール活動の参考にしてください。

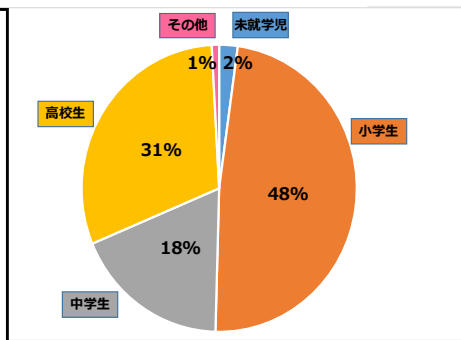


2 発生状況の分析結果

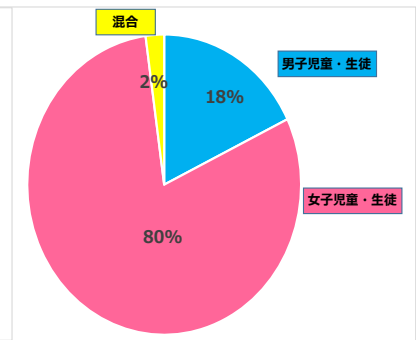
昨年中発生した「声かけ事案」の発生状況を「時間帯別」、「学生区分」、「性別」で分析した結果は、下図のとおりです。



【時間帯別】



【学生区分】



【性別】

以上の分析結果から、下校時間帯の小学生（特に女子児童・生徒）に対する「声かけ事案」が多発していることが判明しました。

こうした脅威から児童・生徒を守るためにも、特に下校時間帯におけるパトロールの強化をお願いします。

【編集後記】

今年も3月に入り卒業シーズンを迎え、来月からは新たに小学校の新一年生が登校することとなります。新一年生を含め児童・生徒が安心して、登下校できるよう、安全運転等に十分注意していただきながら、通学路等のパトロール活動をお願いします。

【県内の青パト情勢】

(令和3年2月末)
・団体数 171団体
・実施者数 6,139人
・台数 2,294台